

LINK-J Networking Reception

多臓器連携を含むOrgans-on-Chipのビジネス最前線

Microphysiological systems for studying the functions and interactions of the human liver, gut and immune system

近年世界中で開発が盛んなorgans-on-chip, MPS (Microphysiological Systems)をテーマとしたセミナーを開催致します。登壇するCN Bio社は2012年に米国マサチューセッツ州(MIT)と共同で「Body-on-chip」の開発を行うため、米国防省(DARPA)から2,600万ドルもの資金を受け開発を進めてきたリーディングカンパニーです。グローバルファーマでの経験も持つスピーカーが、MPSを取り巻く最新のビジネス動向と共に、技術をわかりやすく解説します。

日時

2019年6月19日(水) 18:00~20:30

(受付開始17:30)

講演



イントロダクション:松永 昌之

BIOSPIRE株式会社代表取締役

「英国におけるライフサイエンス・スタートアップに

対する投資環境

~ケンブリッジ大学発ベンチャーに

5年間在籍する経験をもとに~」



ゲストスピーカー: Dr. Tomasz Kostrzewski

Director of Biology, CN Bio Innovations Ltd. 「多臓器連携を含むOrgans-on-Chip のビジネス最前線 I

※同時涌訳なし

会場

日本橋ライフサイエンスハブ

申込URL

https://peatix.com/event/637706



主催

主催:LINK-J

共催: Biospire Japan Ltd.

【お問い合わせ先】

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日9:00-17:00)

E-mail: contact@link-j.org web: www.link-j.org



Program

17:30- 開場

18:00- 開会、LINK-J紹介 18:05- 講演①松永 昌之氏

18:25- 講演②Dr. Tomasz Kostrzewski

19:10- 質疑応答

19:25- ネットワーキング

Profile

松永 昌之

BIOSPIRE株式会社代表取締役

13年間、日系および外資系大手企業において、化学、ライフサイエンスにおける 新素材、新技術の価値を向上させ、新規B-to-Bユーザー開拓を行う経験を積む。 2010年にBiospireを創業後、自身のネットワークを活かしながら、海外ベン チャーの日本企業への紹介を中心としたビジネスデベロップメントを経験。同時 に英国の再生医療系ベンチャー「DefiniGEN」の中心的プレイヤーとして、社内 オペレーション改革とビジネスの垂直的立ち上げを現在進行形で行っている。

Dr. Tomasz Kostrzewski

Director of Biology, CN Bio Innovations Ltd.

Experienced scientific researcher in the field of molecular and cellular biology, with a focus on the development of advanced in vitro cell culture models of human disease and the regulation of immunological pathways. As Director of Biology, have responsibly for the development of novel cell models and assays using the companies microfluidic technologies. Received PhD from Imperial College London and previous experience of working in biopharmaceutical development at GlaxoSmithKline.

参加費

会員: 無料 ※割引コードはお問合せ下さい

非会員: ¥1,000 学生: 無料

Access

日本橋ライフサイエンスハブ

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング8階(COREDO室町3)

東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 直結

